

「チームオレンジBunkyo」サポーターによる認知症に優しいまちづくりについて

1 目的

認知症（若年性認知症を含む）になっても人として尊重され、希望をもって自分らしく生きることが出来るまちづくりを進めるため、本人や家族のニーズと「チームオレンジBunkyo*」サポーター（以下「サポーター」と言う。）をつなぐ仕組みを構築し、本人と家族を支える地域ネットワークを強化する。

*… 認知症ステップアップ講座を修了した認知症サポーター等がチームを組み、認知症の本人や家族に対し、生活面において地域での早期支援等を行う取組

2 事業内容

(1) 認知症の本人と家族を地域で支えるサポーターの養成

「認知症サポーターステップアップ講座」を実践的なプログラムに再構築し、認知症の本人と家族（以下「本人等」と言う。）を地域で支えられるよう、その中核的な存在となるサポーターを養成する。（募集定員 20 人）

また、サポーターが継続的に地域でボランティア活動ができるよう、サポーター専用の公式LINEアカウントを新たに取得し、認知症関連事業やボランティア活動の情報を定期的に配信するほか、組織的な活動に向けた支援を行う。

(2) 認知症本人交流会の開催

認知症の本人の不安を受け止め、自らの体験や思い、必要としていることを語り合える場（年4回）を設けることで、ここでの交流を本人等の支援や地域づくりに活かしていく。

(3) サポーターによる本人等への支援

外出等の日常生活支援を希望する本人等とサポーターのマッチングを行うため、文京区社会福祉協議会が実施する助け合い事業（「いきいきサポート」）への会員登録をサポーターに促すことにより、本人等の生活を支援する体制づくりを進める。

3 今後のスケジュール（予定）

令和5年2月 厚生委員会報告

8月 認知症サポーターステップアップ講座の開始
公式LINEによる情報配信の開始

9月 サポーターによるボランティア体験（認知症関連事業・介護施設等）の開始
「いきいきサポート」への会員登録の開始

10月 認知症本人交流会の開始